

## 第2編 地下水水質測定結果

### 1 調査概要

水質汚濁防止法第15条の規定により、地下水の水質の状況を把握するため、岡山市及び倉敷市と協力して、県内31地点で概況調査を行うとともに、過去に汚染が確認された4地点で継続監視調査を実施した。

#### (1) 対象項目

地下水の水質汚濁に係る環境基準が定められている環境基準項目(28項目)及び要監視項目(25項目)

#### (2) 測定方法

##### ア 概況調査

環境基準項目及び要監視項目 年1回

##### イ 継続監視調査

環境基準項目 年1～2回

測定地点の内訳

| 区分     | 県  | 岡山市 | 倉敷市 | 計  |
|--------|----|-----|-----|----|
| 概況調査   | 19 | 6   | 6   | 31 |
| 継続監視調査 | 2  | 1   | 1   | 4  |
| 合計     | 21 | 7   | 7   | 35 |

### 2 結果概要

#### (1) 概況調査

31地点のうち2地点で、一部の調査対象物質が環境基準を超過していた。

#### (2) 継続監視調査

4地点のうち3地点で、依然として調査対象物質が環境基準を超過していた。

## 地下水の水質測定項目について

|  |                        |
|--|------------------------|
| <b>環境基準項目</b>  | 環境基準で定めている人の健康の保護に係る項目 |
| <p>カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀、ポリ塩化ビフェニル、ジクロロメタン、四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン（以上 28 項目）</p> |                        |

|  |  |
|--|--|
| <b>要監視項目</b>   | 人の健康の保護に関連する物質ではあるが、現時点では直ちに環境基準項目とせず引き続き知見の集積に努めるべき項目 |
| <p>クロロホルム、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、イソキサチオン、ダイアジノン、フェニトロチオン、イソプロチオラン、オキシ銅、クロロタロニル、プロピザミド、E P N、ジクロロボス、フェノブカルブ、イプロベンホス、クロルニトロフェン、トルエン、キシレン、フタル酸ジエチルヘキシル、ニッケル、モリブデン、アンチモン、エピクロロヒドリン、全マンガ、ウラン、ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)（以上 25 項目）</p> |  |

地下水の測定項目、測定方法、報告下限値等

| 測定項目                     | 測定方法  | 報告下限値<br>(mg/L) | 左記未満<br>の表記 |
|--------------------------|---|-----------------|-------------|
| カドミウム                    | 日本産業規格(以下「規格」という。)K0102の55.2、55.3又は55.4に定める方法   | 0.0003          | <0.0003     |
| 全シアン                     | 規格K0102の38.1.2(規格K0102の38の備考11を除く。以下同じ。)及び38.2に定める方法、規格K0102の38.1.2及び38.3に定める方法、規格K0102の38.1.2及び38.5に定める方法又は昭和46年12月環境庁告示第59号(以下「公共用水域告示」という。)付表1に掲げる方法   | 0.1             | ND          |
| 鉛                        | 規格K0102の54に定める方法  | 0.005           | <0.005      |
| 六価クロム                    | 規格K0102の65.2(規格K0102の65.2.7を除く。)に定める方法(ただし、規格K0102の65.2.6に定める方法により塩分の濃度の高い試料を測定する場合にあっては、規格K0170-7の7のa)又はb)に定める操作を行うものとする。)   | 0.02            | <0.02       |
| ひ素                       | 規格K0102の61.2、61.3又は61.4に定める方法   | 0.005           | <0.005      |
| 総水銀                      | 公共用水域告示付表2に掲げる方法  | 0.0005          | <0.0005     |
| アルキル水銀                   | 公共用水域告示付表3に掲げる方法  | 0.0005          | ND          |
| PCB                      | 公共用水域告示付表4に掲げる方法  | 0.0005          | ND          |
| ジクロロメタン                  | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法  | 0.002           | <0.002      |
| 四塩化炭素                    | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法  | 0.0002          | <0.0002     |
| クロロエチレン<br>(別名塩化ビニルモノマー) | 平成9年環境庁告示第10号付表に掲げる方法   | 0.0002          | <0.0002     |
| 1,2-ジクロロエタン              | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法  | 0.0004          | <0.0004     |
| 1,1-ジクロロエチレン             | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法  | 0.002           | <0.002      |
| 1,2-ジクロロエチレン             | 1,2-ジクロロエチレンの濃度は、規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2により測定されたシス体の濃度と規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1により測定されたトランス体の濃度の和とする。  | 0.004           | <0.004      |
| 1,1,1-トリクロロエタン           | 規格K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法  | 0.0005          | <0.0005     |
| 1,1,2-トリクロロエタン           | 同上  | 0.0006          | <0.0006     |
| トリクロロエチレン                | 同上  | 0.001           | <0.001      |
| テトラクロロエチレン               | 同上  | 0.0005          | <0.0005     |
| 1,3-ジクロロプロペン             | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1に定める方法  | 0.0002          | <0.0002     |
| チウラム                     | 公共用水域告示付表5に掲げる方法  | 0.0006          | <0.0006     |
| シマジン                     | 公共用水域告示付表6の第1又は第2に掲げる方法   | 0.0003          | <0.0003     |
| チオベンカルブ                  | 同上  | 0.002           | <0.002      |
| ベンゼン                     | 規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2に定める方法  | 0.001           | <0.001      |
| セレン                      | 規格K0102の67.2、67.3又は67.4に定める方法   | 0.002           | <0.002      |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素            | 硝酸性窒素にあっては、規格K0102の43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6に定める方法   | 0.02            | <0.02       |
|                          | 亜硝酸性窒素にあっては、規格K0102の43.1に定める方法  | 0.01            | <0.01       |
|                          | 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格K0102の43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと、規格K0102の43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。   | 0.03            | <0.03       |
| ふっ素                      | 規格K0102の34.1(規格K0102の34の備考1を除く。)若しくは34.4(妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含まれる試料を測定する場合にあっては、蒸留試薬溶液として、水約200mlに硫酸10ml、りん酸60ml及び塩化ナトリウム10gを溶かした溶液とグリセリン250mlを混合し、水を加えて1,000mlとしたものを用い、規格K0170-6の6図2注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。)に定める方法又は規格K0102の34.1.1c)(注2第三文及び規格K0102の34の備考1を除く。)に定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合にあっては、これを省略することができる。)及び告示付表7に掲げる方法 | 0.08            | <0.08       |
| ほう素                      | 規格K0102の47.1、47.3又は47.4に定める方法   | 0.03            | <0.03       |
| 1,4-ジオキサン                | 公共用水域告示付表8に掲げる方法  | 0.005           | <0.005      |

環境基準項目

| 測定項目                      | 測定方法   | 報告下限値<br>(mg/L) | 左記未満<br>の表記 |
|---------------------------|--|-----------------|-------------|
| クロホルム                     | 規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 に定める方法   | 0.006           | <0.006      |
| 1,2-ジクロロプロパン              | 同上   | 0.006           | <0.006      |
| p-ジクロロベンゼン                | 同上   | 0.02            | <0.02       |
| イソキサチオン                   | 平成5年4月28日付け環水規第121号環境庁水質保全局水質規制課長通知(以下「平成5年通知」という。)付表1の第1又は第2に掲げる方法                          | 0.0008          | <0.0008     |
| ダイアジン                     | 同上   | 0.0005          | <0.0005     |
| フェニトロチオン(MEP)             | 同上   | 0.0003          | <0.0003     |
| イソプロチオラン                  | 同上   | 0.004           | <0.004      |
| オキシ銅(有機銅)                 | 平成5年通知付表2に掲げる方法  | 0.004           | <0.004      |
| クロタロニル(TPN)               | 平成5年通知付表1の第1又は第2に掲げる方法   | 0.004           | <0.004      |
| プロピザミド                    | 同上   | 0.0008          | <0.0008     |
| EPN                       | 同上   | 0.0006          | <0.0006     |
| ジクロロボス(DDVP)              | 同上   | 0.001           | <0.001      |
| フェノブカルブ(BPMC)             | 同上   | 0.002           | <0.002      |
| イプロベンホス(IBP)              | 同上   | 0.0008          | <0.0008     |
| クロルニトロフェン(CNP)            | 同上   | 0.0001          | <0.0001     |
| トルエン                      | 規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 に定める方法   | 0.06            | <0.06       |
| キシレン                      | 同上   | 0.04            | <0.04       |
| フタル酸ジエチルヘキシル              | 平成5年通知付表3の第1又は第2に掲げる方法   | 0.006           | <0.006      |
| ニッケル                      | 規格 K0102 の 59.3 に定める方法又は付表4若しくは付表5に掲げる方法   | 0.005           | <0.005      |
| モリブデン                     | 規格 K0102 の 68.2 に定める方法又は付表4若しくは付表5に掲げる方法   | 0.01            | <0.01       |
| アンチモン                     | 平成16年3月31日付け環水企発第040331003号環水土発第040331005号環境省環境管理水環境部長通知(以下「平成16年通知」という。)付表5の第1、第2又は第3に掲げる方法 | 0.002           | <0.002      |
| エピクロロヒドリン                 | 平成16年通知付表2に掲げる方法   | 0.0001          | <0.0001     |
| 全マンガン                     | 規格 K0125 の 56.2、56.3、56.4 又は 56.5 に定める方法   | 0.02            | <0.02       |
| ウラン                       | 平成16年通知付表4の第1又は第2に掲げる方法  | 0.0002          | <0.0002     |
| ペルフルオロオクタン<br>スルホン酸(PFOS) | 令和2年5月28日付け環水大土発第2005281号・環水大土発第2005282号<br>環境省水・大気環境局長通知付表1に掲げる方法                           | 2.5(ng/L)       | <2.5        |
| ペルフルオロオクタン<br>酸(PFOA)     |  | 2.5(ng/L)       | <2.5        |
| PFOS 及び PFOA              |  | 5(ng/L)         | <5          |

要  
監  
視  
項  
目

# 地下水環境基準達成状況図

